

1 ユニット名 伝えよう！わたしたちのいきいき柏台

2 ユニットについて

子どもの実態

- 男子 40名 女子 29名 計 69名
- 素直で何事にも真面目に取り組む。指示されたことは一生懸命行うが、自分で考えて行動することはなかなかできない。
- 自分の思いや考えを、文章で表すことはできるが、人前で発表することは苦手である。
- 地域の方との関わりは挨拶をする程度で、地域に興味をもち、愛着をもつところまでには至っていない。

教師の思いや願い

- 課題を解決するために、自分なりの思いや考えをもち、計画を立てて行動できる力をつけてほしい。
- 地域の方から情報を集め、さらに住みよい、いきいきした町にするためにできることを考え、地域に愛着をもってほしい。
- 調べたことを整理し、提案したいことを工夫してまとめ、いろいろな方法で発信できるようにしてほしい。

伝えよう！わたしたちのいきいき柏台

ユニットとしての価値

児童は低学年で地域の探検をし、地域にあるお店や施設などを見学している。地域の人々や施設などと関わり、その役割を理解しようとしてきた。また、4年生では地域にあるライフステーション「オニオン」で、1日店員体験をすることで、お客様に対する接客マナーを理解したり、働くことの大変さや喜びを感じとったりすることができた。地域の方に助けられ、見守られていると感じている児童も多い。

そこで、自分が住む町の良さを見つめると共に、町を支えるのは人であることに気付き、さらに住みよい、いきいきした町にするために、自分達にもできることを考える機会を作りたい。そして、その思いを多くの方に共感してもらうために、地域に発信していこうと考える。その活動を通して、地域の一員としての自覚をもち、愛着や郷土愛をもつことができると考える。

そのためには、様々な情報を集めることが大切である。保護者や地域の方々インタビューしたりアンケートをとったりして、大人の思いや願いに気付かせたい。地域の方から集めた情報を整理し、自分たちが感じた良いところや課題と照らし合わせていく。その上で、自分達にもできることを考えていく。自分が住む町が今後どうなっていくべきか、地域のために自分はどうすべきなのかを考え、実践していく中で、人間関係形成・社会形成能力や、課題対応能力を育んでいきたい。

3 ユニットのねらい

教科等での目標

《かしわば学習》

伝えよう！わたしたちのいきいき柏台

- 自分が住んでいる地域の良いところや課題を見つけ、さらに住みよい、いきいきした町にするためにはどうしたらよいか考える。【課題設定】
- 友達と意見を交換しながら学び、わかったことをまとめたり発信したりしている。【思考・判断】
- 地域の様々な人との関わりを通して、地域に対する親しみや愛着を高めようとする。【関心・意欲・態度】

《国語》 情報を深める

- 新聞の仕組みを知り、見出しや記事の表現を工夫して新聞を作る。
- 書く事柄を収集し、全体を見通して整理している。

教科等での目標

《道徳》 桜を守る

- 郷土の自然・文化や、日本の文化・伝統を大切にする努力を知り、進んで郷土や国を愛する心を育てようとしている。

キャリア教育の視点からの目標

《人とかわり活動する力》

- 様々な立場の人と関わる中で、その人の思いに気付き、さらに住みよい、いきいきした町にするために、自分にできることを考える。

《自分で考え行動する力》

- 自分の思いや考えを発信するために、適した方法を考え、計画を立てて実行する。

4 ユニットの展開計画（総時数 31 時間）

過程	教科等	学習活動	指導の手立て	キャリア教育で育む力	評価
ステップ1 情報を集めよう 10	かしわば 9	○オリエンテーションを行い、学習に対する見通しやめあてをもつ。(1)	○学習の意義を理解し、めあてを達成するためにどういう計画で行うか見通しをもつことができるようにする。 ○「いきいきした町」とはどんな町なのか、ウェビングを使った話し合いを通して視点を明確にし、目指す町を共通理解できるようにする。	◎自分で考え行動する力 ・単元全体の流れを理解して、学習に対する見通しをもって取り組むことができる。 ・地域に対する様々な情報を得て、自分たちが地域のためにできることを考えたり、選んだりすることができる。	発言 学習シート 発言 発表 学習シート 行動観察 学習シート
		○学区の中で気になっている場所へ行き、良いと思うところや問題点等を調べる。(2) ○大人は、住んでいる地域に対してどのように思っているのか知るために、アンケート調査をする。(保護者)(2) ○保護者以外の地域の方にインタビューをする。(2) ・自治会の人・交番の警察官 ・お店で働く方・セーフティーウォッチャーの方・老人ホームの方等 ○アンケート結果やインタビューしたことを整理する。(2)	○観点を決めて自分が注目した場所へ行き、良いところや問題点等を見つけることができるようにする。 ○写真を撮り、その場所に行っていない友達にも知らせることができるようにする。 ○大人目から見た、地域に対する思いに気付くことができるようにする。 ○多くの方の意見を聞くために、全学年の保護者にアンケート調査を行い、この活動の趣旨を理解し、協力してもらえようにする。 ○大人の思いや願いと子どもの思いを比べ、共通点や違いをとらえることができるようにする。	◎人とかかわり活動する力 ・友達や地域の方の考えを理解し、自分の考えを伝えることができる。	行動観察 学習シート 行動観察 学習シート 発言
ステップ2	道徳 1	○桜を守る(1)	○副読本を利用する。 ○地域の自然を守る活動をしている人々がいることを知り、その活動の大切さを理解し、自分に置き換えて考えることができるようにする。	◎自分を見つめる力 ・自分のやりたいこと良いと思うことなどを考え、進んで取り組む。	発言 発表 学習シート
	かしわば 6	○調査結果を比較したり、分類したり、関連付けたりして、地域の方の思いや願いを明らかにする。(2)(1組本時)	○付箋に書いた調査結果を同じ内容でまとめ、整理しやすいようにする。 ○地域の方の考えと自分の考えを比べ、共通点や相違点を見つけることができるようにする。 ○調査結果を地図上に整理し、どの場所に関係がある内容なのか、視覚的にもわかるようにする。 ○子どもたちが撮ってきた写真を利用し、現場の様子がわかるようにする。	◎自分で考え行動する力 ・調査結果から地域の方の思いを整理し、課題を見つける。	発言 発表 学習シート 行動観察

地域のためにできることを考えよう		<p>○調査結果から、住みよい、いきいきした町にするために、自分たちができることを考える。(2)</p> <p style="text-align: center;">(2組本時)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「あいさつ通り」を作る。 ・「安全マップ」を作る。 ・ゴミ拾いをする。 ・お花を植える。 ・楽しい公園や場所を紹介する。 ・老人ホームの方と交流をする。 <p>○どのように活動していくか、計画を立てる。(2)</p>	<p>○自分の考えを学習シートに書いておき、全員が意見を言えるようにする。</p> <p>○地域の方の思いを受け止めながら、自分たちが実際にできる内容かどうかを話し合い、活動の根拠が明らかになるようにする。</p> <p>○地域の方の話を聞き、子ども達の考えと地域の方の願いが近づくようにする。</p> <p>○自分はどの活動に取り組みたいか決め、グループを作る。</p>	<p>◎人とのかかわり活動する力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達や地域の方の考えを理解し、自分の考えを伝えることができる。 <p>◎自分で考え行動する力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目指す町に近づくために、実際に何ができるかを考えることができる。 	<p>発言 発表 学習シート 行動観察</p>
ステップ3	国語3	<p>○情報を深める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞を作ろう (3) 	<p>○新聞の構成はどのようになっているか理解し、わかりやすく伝える工夫を知り、利用できるようにする。</p>		行動観察 新聞
ステップ3 地域に発信しよう	<p>かしわば</p> <p>12</p> <p>15</p>	<p>○地域の方にも自分たちの活動を理解し、協力してもらうために、発信する方法を考える。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ・パンフレット ・壁新聞・「かしわだいフェスタ」で呼びかける等 <p>○提案する内容を効果的にまとめ、相手にわかりやすく伝える工夫をして、発信する。(5)</p> <p>○自分たちができることを実践する。(3)</p> <p>○実践したことを地域に発信する。(2)</p> <p>○学習を振り返り、これからの自分の生活について考える。(1)</p>	<p>○伝えたい内容によって、ふさわしい発信方法を考える。</p> <p>○自分たちが調べたり話し合ったりして、発見したことやお願いしたいこと等を工夫しながらまとめるようにする。</p> <p>○地域の方の共感を得て、協力してできるように呼びかける。</p> <p>○活動→振り返り→改善→活動という流れを確認し、意欲的に活動できるように支援する。</p> <p>○実践してわかったことや新たに発見したこと、お願いしたいことなどを発信できるようにする。</p> <p>○活動全体を振り返り、住みよい、いきいきした町にするために実践できたかを振り返る。</p> <p>○これからも継続して取り組めるようにする。</p>	<p>◎人とのかかわり活動する力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の一員として、自分が今後どのように生活していくかを考えることができる。 <p>◎自分で考え行動する力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方にも共感してもらえるように発信し、実践することができる。 <p>◎自分を見つめる力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のやりたいこと、良いと思うことなどを考え、進んで取り組む。 	<p>発言 行動観察 学習シート</p> <p>行動観察 学習シート 発信内容</p> <p>行動観察</p> <p>発言 発表 行動観察 学習シート</p>

5 視点について

視点1【学びの価値を味わわせる工夫】

《今の活動が将来につながっていると自覚させ、活動への意欲を高める学習活動》

この活動は、地域の良いところがわかり、地域が好きになる子どもの育成を目指して単元開発した『いきいきかしわ台プロジェクト』の第3段階にあたる。低学年では『発見する』ことをテーマにして町探検に取り組んだ。地域にある施設やお店に行き、どのような仕事をしているのか調べ、地域の人々や仕事について発見した。中学年では『体験する』をテーマに、学校行事である「かしわだいフェスタ」での模擬店体験や、地域内にあるお店での1日店員体験などに取り組んだ。体験を通して働くことの大変さや厳しさを感じ、それと同時に働くことの喜びややりがいなども感じ取ることができた。

そして高学年では、これまでの活動を通して地域についての理解を深め、わかったことを発信し、広めていこ

うという活動に進んでいく。「自分が住む町は、自分たちがつくっていく」という考えを基にして、住みよい、いきいきした町づくりを目指すためには、今の自分たちの活動が重要であると自覚させたい。

そのためには、どのような道筋で学習を進めていけばゴールに近づくのかわかるように、一人一人がゴールを見据えた学習計画書を作成する。今の活動が全体の中のどの辺りに位置するのかを知ることで、計画的に学習を進めることができるだろう。また、何のためにその活動を行うのか児童に意識させることで、「やらされている」のではなく、自ら「やりたい」と考え、意欲的に取り組めるようになるだろう。

また、今回の活動は自分のためだけではなく、地域に住んでいる方や、地域で働いている方のためにもなると考えることで、意義のある活動となり、「役に立ちたい」という気持ちが育つと考える。この活動を繰り返すことで、子どもたち自身が本単元、または一時間一時間で学習する内容には価値や意味があり、いずれは将来に繋がることだと気づき、学習の意欲を高めるものとする。

視点2【個に応じた支援の工夫】

《地域や保護者と連携した活動》

地域のために自分たちができることを考えるためには、現状を知ることが必要である。実際に地域を歩いて自分の目で調べることはもちろんだが、子どもの考えと大人の考えや思いには違いがある。そこで、保護者の方にアンケートをとったり、地域の方にインタビューをしたりして、様々な考えや思いに触れることができるようにしていきたい。児童は良いと思って考えたことでも、実際に活動することは無理なことであったり、それほど必要ではなかったりすることもあるだろう。児童が考えたことと、地域の大人の方の思いや考えに違いがあることを知ることで、地域にとって本当に必要なことが見えてくると考える。

また、住みよい、いきいきした町をつくるためには児童の力だけでは無理な部分もある。児童の活動を多くの方に理解していただき、協力していただくためにも地域の方に発信していきたい。発信する相手や活動の内容にふさわしい発信方法を考え、自分たちの思いを伝えていく。児童が中心となって活動し、その活動を知って共感し、協力してくれる方が増えることで活動の輪が広がり、地域に目を向け、皆で町をつくっていこうという思いが芽生えてくると考える。

地域の方に継続的に知らせ、活動を理解していただくことで意欲が高まり、地域に対する愛着も深まっていくと考える。

視点3【評価の工夫】

《自己評価・相互評価ができる学習シートの工夫》

毎時間の活動が、すべて次の活動に繋がっていき、改善しながらさらに良い活動ができるようにしていきたい。そのためには学習シートを基にして活動の目あてを明確にし、活動の意義を理解できるようにしたい。ゴールを意識し、そこに向かって計画的に進めていけるように学習シートを工夫し、調べてわかったことや気付いたこと、自分や友達の考えなどを記録し、学習の積み重ねがわかるようにする。また学習後に毎回振り返ることで、その日の活動の成果がわかったり、修正したり追加したりして、次の活動に繋げていく。それを担任も確認することで、児童一人一人に必要な助言や指導をすることができ、より良い活動ができると思う。

グループで活動することが多くなるので、グループ内で一緒に振り返る場を作り、お互いに認め合ったりアドバイスしたりして、相互評価もできるようにしたい。そうすることで自信をもって活動し、自己肯定感をもてるようになると思う。

6 本時の指導①（12/31） 5年1組

(1) 教科の目標（◎教科 ☆キャリア教育）

◎集めた情報を分類したり、関連付けたりする。

【思考・判断】

◎☆集めた情報を比較し、立場や年齢によって共通点や違いがあることに気付く。

【整理・分析】

【自分で考え行動する力】

☆整理した情報から大人や子どもたちの考えを理解し、願いや思いを明らかにする。 【自分を見つめる力】

(2) 展開

過程	学習活動と内容	指導と評価（◎教科等 ☆キャリア教育）	資料教具
導入	1 学習の目あてを確認する。	○集めた情報を整理し、地域の方の願いや思いをはっきりさせることが、これからの活動に繋がっていくことを理解させる。	調査内容を整理する表
展開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 集めた情報を整理し、地域の大人や子どもたちの考えをまとめよう。 </div>		
	2 キャリアアドバイザーの方を紹介する。 3 アンケート調査やインタビューしてきた内容をグループごとに整理し、意見をまとめる。 ・子どもの意見グループ ・保護者の意見グループ ・地域に住んでいる方の意見グループ ・この地域で働いている人の意見グループ 4 グループごとに発表する。 ・登下校を見守ってくれる人がたくさんいて安心です。 ・大人は、自然が多くて、静かな町だと感じている人が多いです。 ・ごみ置き場はきれいだけど、場所によってごみがポイ捨てされて、汚れている場所があるそうです。 ・見通しが悪くて危ない道があります。 ・電灯が少なく、暗い公園があります。 5 発表を聞いて、どのような違いがあるか比べる。 ・大人も子どもも自然がたくさんあるという意見は同じだと思います。 ・地域の方は皆、この道は見通しが悪くて危ないと思っています。 ・子どもは公園の遊具がもっと欲しいと思っています。	○住みよい町にするために、日頃から地域のため、子どもたちのために活動している方であることを知らせる。 ○調べてきた内容はそれぞれ内容ごとに色分けした付箋に書いておき、整理しやすいようにしておく。 ・良いところ → ピンク ・もっと良くなってほしいところ → 青 ・その他 → 黄色 ○整理しやすいように同じ内容でまとめ、どのような願いや思いが多いかわかるようにする。 ○キャリアアドバイザーの方にグループに入ってもらい、そのグループの代表者として意見を言ってもらおう。 ○調査結果を地図上に整理し、どの場所に関係がある内容なのか、視覚的にもわかるようにする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ◎集めた情報を分類したり関連付けたりして、整理しているか。 【思考・判断】 </div>	学習シート
終末	6 本時の活動を振り返る。	○それぞれの意見を比べて、立場によって願いや思いが違うところや、同じところに気付いて、自分の考えを言えるようにする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ◎☆集めた情報を比較し、立場や年齢によって共通点や違いがあることに気付いているか。 【自分で考え行動する力】 ☆地域の方はどのような願いをもっているか分析し、明らかにしているか。 【自分を見つめる力】 </div> ○アドバイザーの方に意見を聞き、これからの方向性を考えるようにする。 ○本時の学習を振り返り、自己評価したり、お互いの頑張りを認め合ったりする。	地域の地図

6 本時の指導② (13/31) 5年2組

(1) 教科の目標 (◎教科 ☆キャリア教育)

◎整理した情報をもとに、これからどのような活動ができるか考え、自分の考えを伝える。【思考・判断】

☆地域の方の思いや願いを受け止め、地域のために実践できることを進んで考える。【自分を見つめる力】

(2) 展開

過程	学習活動と内容	指導と評価 (◎教科等 ☆キャリア教育)	資料教具
導入	1 学習の目あてを確認する。	○子どもたちの思いやこれからの活動が、さらに住みよい、いきいきした町作りに繋がっていくことを理解させる。	調査内容を整理した表
展開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">柏台が、もっといきいきするためにできることを考えよう。</div> 2 キャリアアドバイザーの方を紹介する。 3 グループごとに話し合いをする。 <話し合いの例> ・ゴミを決められた場所に捨てるように看板を作ってはどうか。 ・ゴミ拾いをしよう。 ・お花を植えたいな。 ・地域で会った人みんながあいさつできるようにしたい。 ・危ない場所がわかるような地図を作ったらどうか。 ・楽しい公園や場所を紹介しよう。 ・地域を守ってくれている人を紹介してはどうだろう。 ・老人ホームの方は、会いに来てほしいと言っていたよ。	○住みよい町にするために、日頃から地域のため、子どもたちのために活動している方であることを知らせる。 ○調査した内容を整理した表を基に、何が必要か考えることができるようにする。 ○他の地域での取り組み例を知らせ、参考にできるようにする。 ○自分の考えを学習シートに書いておき、グループの全員が意見を伝えられるようにする。 ○子どもたちの発想を肯定的に受け止め、多くの意見が出るように、補助発言や助言に気を配る。 ○問題点をなくすことだけでなく、良いところを広める活動も考えるようにする。	地域の地図 いろいろな地域の取り組み例 学習シート
	4 グループごとに発表する。 <発表例> ・自然がたくさんあることを知らせたいです。 ・皆があいさつし合える「あいさつ通り」を作れたらいいと思います。 ・危険な場所を知らせる「安全マップ」を作りたいです。 ・ゴミ拾いをしたいと思います。 ・楽しい公園や場所を紹介したいです。 ・お花を植えたいです。 ・老人ホームの方と交流できたらいいと思います。	○キャリアアドバイザーの方にはグループを回っていただき、その活動が可能かどうか、地域の方はどういう願いをもっているのかアドバイスしていただくようにする。 ○グループの意見が全体に反映されるように、グループで出た意見を発表させる。 ○話し合った内容を短冊に書き、整理しやすいように観点ごとにまとめて黒板に貼れるようにする。	短冊
終末	5 本時の活動を振り返る。	○子どもたちにとって何が必要なのかを考え、住みよい、いきいきした町にするために、自分たちが実践できることを考えているか。【自分で考え行動する力】 ○アドバイザーの方に意見を聞き、これからの方向性を考える。 ○本時の学習を振り返り、自己評価したり、お互いの頑張りを認め合ったりする。	